

# KSK湘南ふくしネットワーク オンブズマン



編集責任者：NPO 法人湘南ふくしネットワークオンブズマン 高山直樹  
事務局 〒251-0871 神奈川県藤沢市善行 4-3742-4 電話・FAX 0466-81-9218  
直通電話 090 4937 4904 定価 100 円  
ホームページ <http://www.npo-snet.com> eメール [info@npo-snet.com](mailto:info@npo-snet.com)

## 第4回権利擁護についての市民セミナー

< 激動の福祉 冬が来るのか 春を呼べるか！ >  
～ だれもが暮らせる街を作ろう～

講演：『市町村における地域支援システム』

～ 東松山市の実践～

講師：ひがしまつやま市総合福祉エリア  
所長 曾根 直樹 氏

年齢や障害種別の枠を超えてサービスを作り出し、総合的に福祉に取り組んで  
おられる東松山市の実践についてうかがいます。

日 時：2005年2月26日(土)午前10:00～12:00

場 所：茅ヶ崎市役所分庁舎 コミュニティホール

参加費：500円

### おまけ

内部研修 (ご希望の方はご参加いただけます)

シンポジウム 『誰もが暮らせる街づくりのために』

シンポジスト：牧野賢一氏(社福 湘南福祉センター 下宿屋 ホーム長)

『知的障害者の地域生活の中から見えてきた権利擁護の必要性』

小川泰子氏(社福 いきいき福祉会 ラポール藤沢 施設長)

『小規模多機能なんて言わないで！住民が作るサートハウス「和」とは』

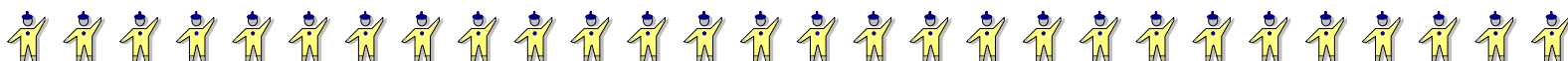
萩原敬子氏(NPO法人 横須賀の福祉を推める会 理事長)

『親たちが作ってきたもの、これから創りたいもの』

日 時：2005年2月26日13:30～

会 場：茅ヶ崎市役所分庁舎 研修室 A・B

会 費：500円



# 「第3回オンブズマン養成基礎研修講座」を開催しました

今回で、オンブズマン養成基礎研修講座も3回目となりました。

2回目は他県からも受講できるように連続3日間の日程で宿泊の設備のあるところで開催いたしました。今回は初心に戻って、私たちのNPOに入って、私たちと共にオンブズマン活動をしてくださる方を増やすことを目的に、地元、茅ヶ崎市勤労市民会館を会場に、9月13日から10月12日までの間の7日間をかけて、8講座を実施いたしました。

研修1「社会福祉の動向とオンブズマンの役割」では、権利とは何か、社会全体の権利関係の相互のメカニズムとそれに伴う権利擁護・オンブズマンの必要性についての講義があり、ビデオで実際のオンブズマン活動を見ていただき、更に必要性を実感していただきました。

研修2「オンブズマンに求められる基本的姿勢」では、声を聴き取るための理論「自己理解と他者理解」と、技術演習として「傾聴」「受容」を受講者同士で実習いたしました。

研修3「オンブズマン活動の基本的考え方」では、4人の講師にそれぞれ「権利擁護の動向と考え方」「ノーマライゼーションと地域生活支援」「自己決定とエンパワメント」「成年後見制度」について講義いただきました。



研修4「障害・加齢について学ぶ」では、障害分野については、これから策定されるべき障害者差別禁止法を含めて障害者福祉の法律、診断基準、特性などの講義がありました。加齢の分野では、高齢者の心身機能の変化を講義と、茅ヶ崎市社会福祉協議会から用具とともにご出講いただき「インスタントシニア体験」ということで、白内障用

ゴーグルやおもりなどの器具を着け、高齢者の疑似体験をしました。

研修5「権利擁護の制度、システムの現状」では、かながわ権利擁護相談センター“あしすと”からご出講いただき、神奈川県権利擁護機関の役割、県内のオンブズマン組織、地域福祉権利擁護事業について講義いただきました。



研修6「オンブズマンの求められる基本姿勢」では、「価値(人間観・社会観)」と「倫理」を私たち法人のオンブズマン活動倫理綱領としている「オンブズマン活動宣言」の解説をしながら、説明していただきました。また、時間をいただいて、受講者に自己紹介をしていただき、この講座を受けた動機などについて伺いました。

研修7「関係者から学ぶ」では、障害者ご本人からオンブズマンを利用した感想を、ご家族から家族としての思いを、また契約施設の施設長から施設のあり方やオンブズマンについて、施設のオンブズマン協力員である職員から協力員の役割とオンブズマンに対する意見を伺いました。

最終日には小型バスをチャーターして、特別養護老人ホーム、知的障害通所授産施設、知的障害入所更生施設、身体障害者療護施設、グループホームの各種施設見学を行いました。

受講生の方々に、アンケート調査をした結果、ほとんどの方から、オンブズマン活動をやってみようというお答えをいただきました。

また、すでにオンブズマン活動をしていらっしゃる方もいて、現任者研修としても、お役に立たそうです。



# 成年後見制度を考える

## 親が「しょうがい」のある人の成年後見を考えるときの注意事項

- 1 親が漫然と「しょうがい」のある人の成年後見人になっていると、親なき後においては、「しょうがい」のある本人について親のようによく知り、親のようによく思う人は居なくなるし、そのような人が新しく養成される可能性は低い。親の方が子どもより先に死ぬ場合が多いのは当然であろう。
- 2 また、親は、「しょうがい」のある本人の成年後見について、きょうだいに期待しない方がいい。きょうだいは「しょうがい」のある本人との間では、一般に財産的な意味で利益相反関係に立つことが多い。また、きょうだいは、「しょうがい」のある本人に対し、「潜在的な迷惑感」を持っている場合が少なくない。きょうだいの配偶者などが関係すると、余計にそうである。そうすると、財産面以外に感情的にも、本人との間では、利益相反関係に立ちやすくなる。
- 3 他方、一般に、親は子の自立の敵である。言い換えれば、親は、子の自立との関係では、安全という名のもとにブレーキを踏む役割の人である。それゆえ、とくに成人の子の自立に向けた自己決定においては、親が子の代理をするのは適切とは言えない場面が少なくない。とくに、親の意思に反した強い自己決定をするだけの力や支援を持っていない、「しょうがい」のある人の場合はそうである。
- 4 親は、自分が生きている間に、「しょうがい」のある本人についてよく知り、よく思う第三者を養成しておくべきである。そのとき、注意したいのは、上記3の要素を考えれば、親のコピーを作ることを目指すのではなく、「自立に向けた支援者を養成する」という視点を大切にすることであろう。

## 新人オンブズマン紹介

### 近藤真代さん

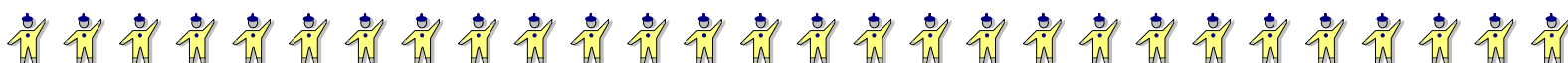
私は今大学4年生で、社会福祉を専攻しています。

この4年間で自分が何をしてきたか振り返ってみると同時に、残り少ない学生生活の中で何かできることはないか探していました。ボランティアやガイドヘルパーなどで障害のある方と接することの多かった私は、その方たちが自分の人生におけるあらゆる場面において、どんなことを選択・決定しながら、日々過ごしているか知りたいと思っていました。そして、受容や傾聴ということを通して理解するだけでなく、実際に自分が相談者という立場で実践することから経験を積んでいきたいと思い、オンブズマンの活動することに決めました。

相談を受けながら、ひとりひとりの抱えている問題の多様性を知るとともに、その人の問題にオンブズマンとして関わることの責任の重さをひしひしと感じています。

相談する人の言葉からは、切実な思い、真っ直ぐな思いが伝わってきます。そういった思いをしっかり受け止め、さらにそこから問題解決へ向けて取り組んでいきたいです。ただそうはいっても、すぐには解決できない問題もあり、自分の力不足を痛感します。自分自身悩んだり、葛藤しながらも、オンブズマンに相談することがその人にとって意義あるものになるよう努めていきたいと思っています。

宜しくお願い致します。





**「特定非営利活動法人湘南ふくしネットワークオンブズマン 2003(平成15)年度活動報告書」**

2月発行予定：一冊1000円+送料でお分けいたします。(市民セミナー会場にも置きます)  
・ご希望の方は、お名前・ご住所・希望冊数を明記の上、事務局までお申し込みください。

**賛助会員入会のお願い**

私たち「湘南ふくしネットワークオンブズマン」は、施設や地域において福祉サービスを利用または必要とする人たち(以下「利用者」という)の権利を守り、その人が決めたその人らしい暮らしを実現するために活動しています。そして、よりいっそう利用者の側に立った活動ができるようにと、2001年5月に特定非営利活動法人(NPO)の認証を受けました。

私たちは、利用者の意見に耳を傾け、そこにある問題の解決に知恵を出し合い、全力で取り組みます。私たちは利用者の方の力になり、ノーマライゼーション社会を実現したいと思っています。

そのためには、地域の方たちの協力が必要です。私たちの活動をご理解くださり、ご支援くださる方には、賛助会員としてご入会くださるようお願い申し上げます。

**賛助会員会費**

- ・地域のみなさま 年額 一口 1,000円 (一口以上)
- ・法人のみなさま 年額 一口 5,000円 (一口以上)

**\* ご入会いただきますと、会報などをお送りする他、セミナー・研修会などの割引特典があります。**

ご入会の方法：郵便振替書により下記口座へ会費をお振込みください

郵便振替口座番号 00210-9-75496  
 口座名義人 NPO法人 Sネットオンブズマン

**2004年度賛助会費をご納入くださった方々(敬称略)**

**〔法人会員〕**

- 県央東地区オンブズパーソンネットワーク、
- 特定非営利活動法人 鎌倉ホームヘルプ協会 ベルの会、
- 社会福祉法人知恵の光会 フロムワン福祉園
- 社会福祉法人横須賀たんぼぼの郷 わたげ

**〔個人会員〕**

- (伊勢原市) 山口賢治 (鎌倉市) 小宮万理子、富田順一、林美代子
- (川崎市) 安藤綾子、小嶋珠美 (逗子市) 宮本幸太、宮本すみ子
- (茅ヶ崎市) 相田敬子、麻生光夫、阿彦君江、上杉桂子、梅田和彦、大木礼子、大畑良江、鐘ヶ江洋子、佐川光徳、澤田幾美、嶋田豊、勢渡澄江、高月雅子、高橋厚子、高橋登女恵、田部許子、鄭美佐子、寺田富久子、中西拓子、永峯宏悦、新倉佳子、羽切信夫、長谷川英雄、端山輝男、松村市子、松本順子、持館浩、持館すが子、八尋泰紀、山本奈央、山永妙子、渡邊保子、藁科裕子 (平塚市) 成瀬富子 (藤沢市) 小川桂子、石崎継男、鈴木政子、高山由美子、大和佳子 (横須賀市) 多田政孝、
- (横浜市) 市川雄一、太田孝、加藤敏、小玉加代子、関貞雄、長野洋子、深野千恵子、増田逸朗、谷田部幸彦、山田四郎 (寒川町) 仲間清子 (城山町) 中谷正代 (埼玉県) 川田角夫 (静岡県) 久保田信義、松田盛治

